

現代の貧困について

日本女子大学教授
岩田 正美

現代の貧困について —どう考えたらよいか？

日本女子大学 岩田正美

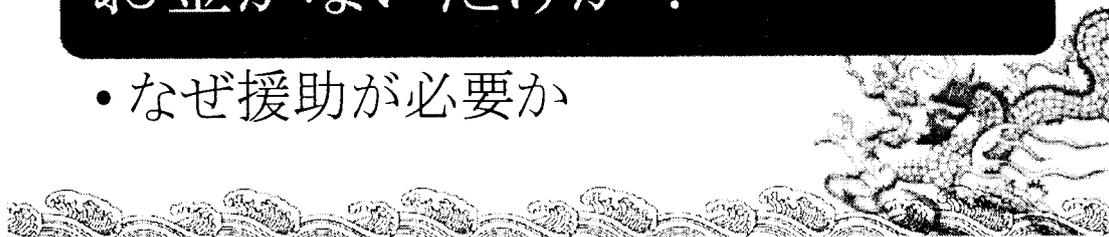
貧困とは？

お金が無いこと

- どのくらい足りないと貧困か？
- どのように足りないと問題か

お金がないだけか？

- なぜ援助が必要か



あなたの最低生活費はいくら？ 同一地域の23人に聞きました

年代	性別	最低生活費 万円	備考
20	男	20	
30	男	17	
40	男	30	
50	男	17	住宅費別
60	男	25	年金生活者
60	男	11	
60	男	20	
60	男		住宅費別
60	男	25	
60	男	20	税金保険料別

年代	性別	最低生活費 万円	備考
20	女	25	
30	女		
30	女	6	住宅費別
40	女	20	
40	女		
50	女	25	
50	女	15	住宅費別
50	女	21	住宅費別
50	女	15	
50	女	25	保険貯金別
60	女	20	
60	女	20	
70	女	25	

貧困の境界を決めるのは難しい

主観

自分の生活
から考える

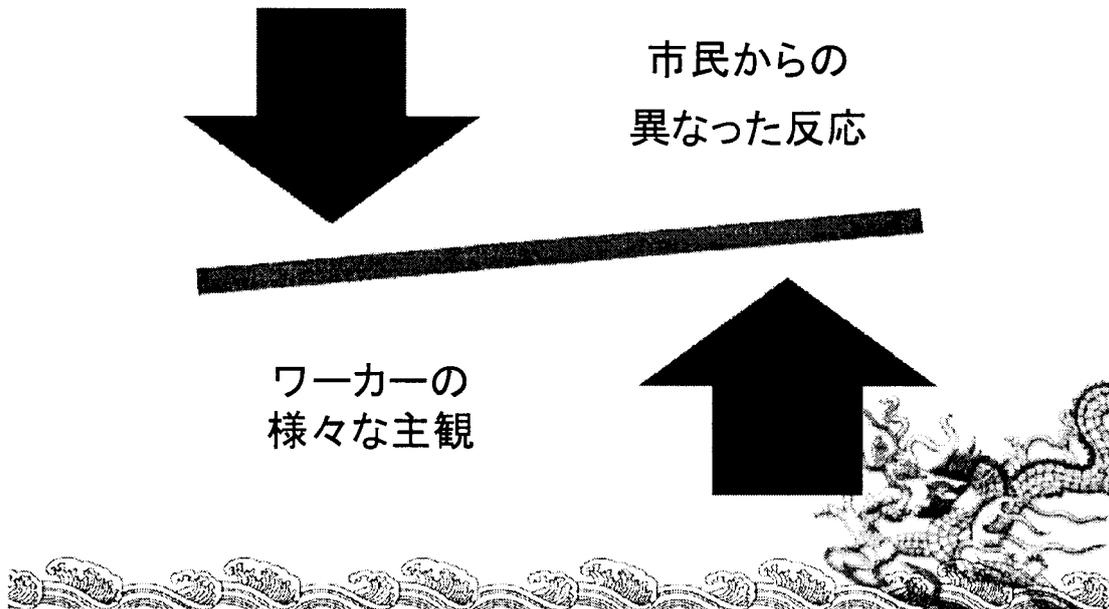
自分の生活
から貧困者
を非難する

客観

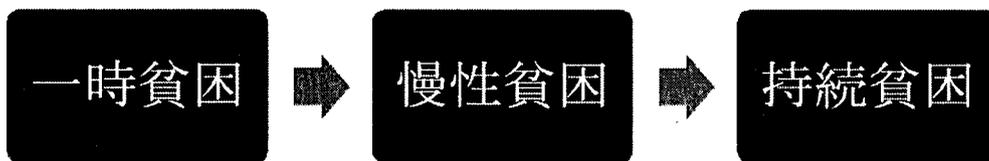
飢餓水準

社会的水準

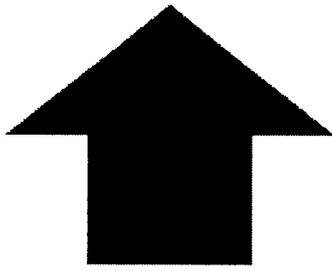
保護基準の定まった福祉事務所でさえも・



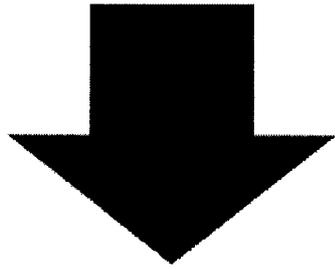
基準だけが問題ではない
「貧困の経験」への着目



貧困経験の長さは資源以外の問題を
を付加する



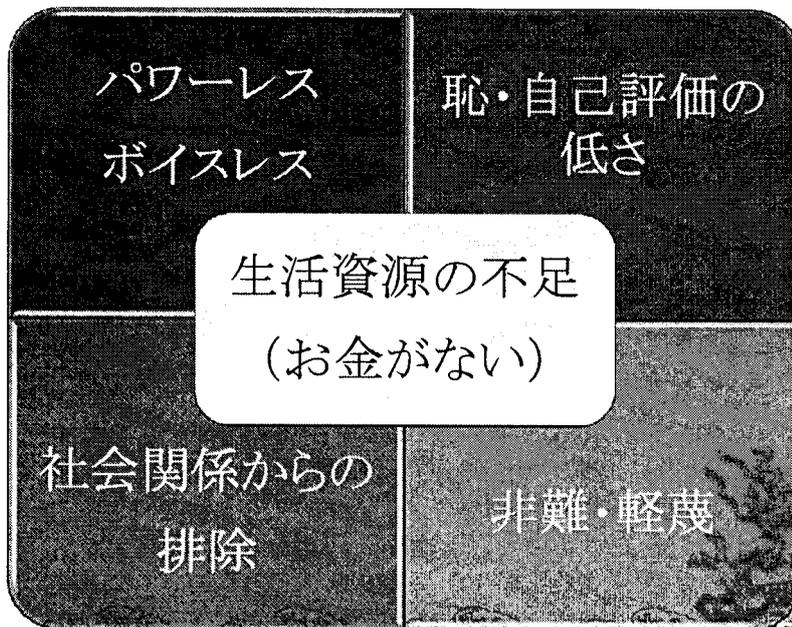
貧困の固定化



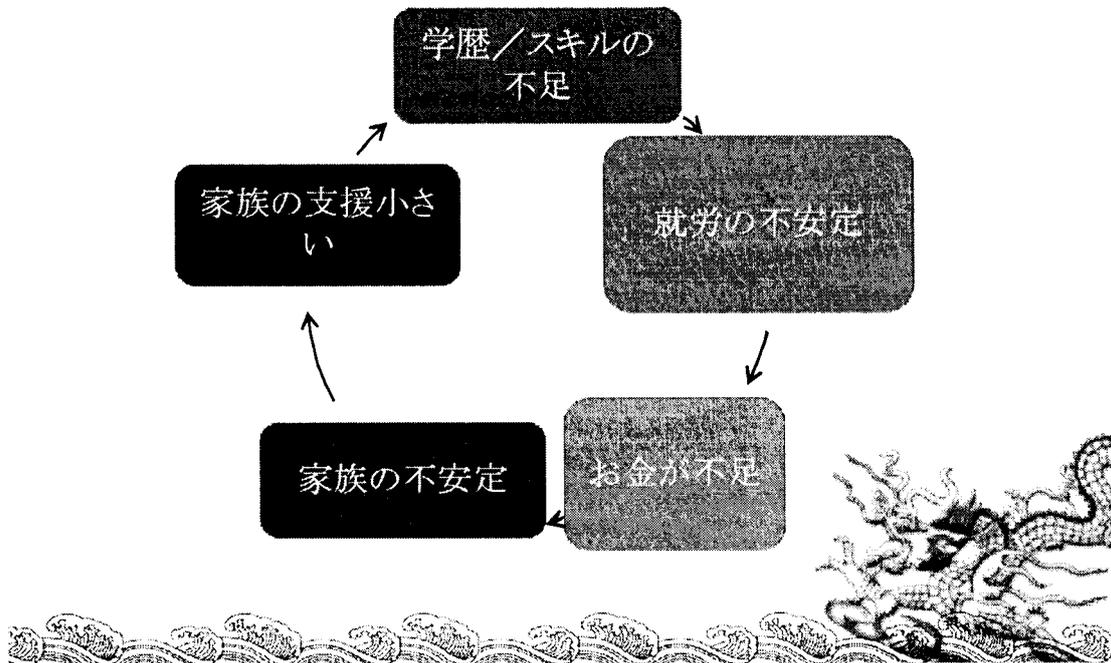
貧困に付加される
別の問題



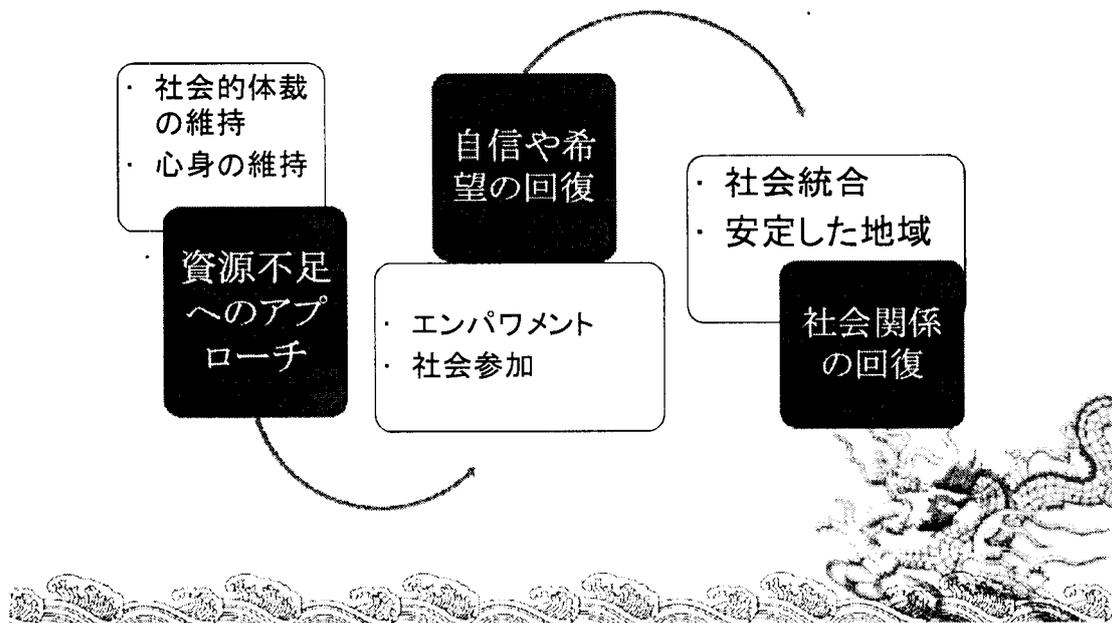
資源の不足だけではない貧困の構造



貧困の悪循環



貧困対策は何故必要か



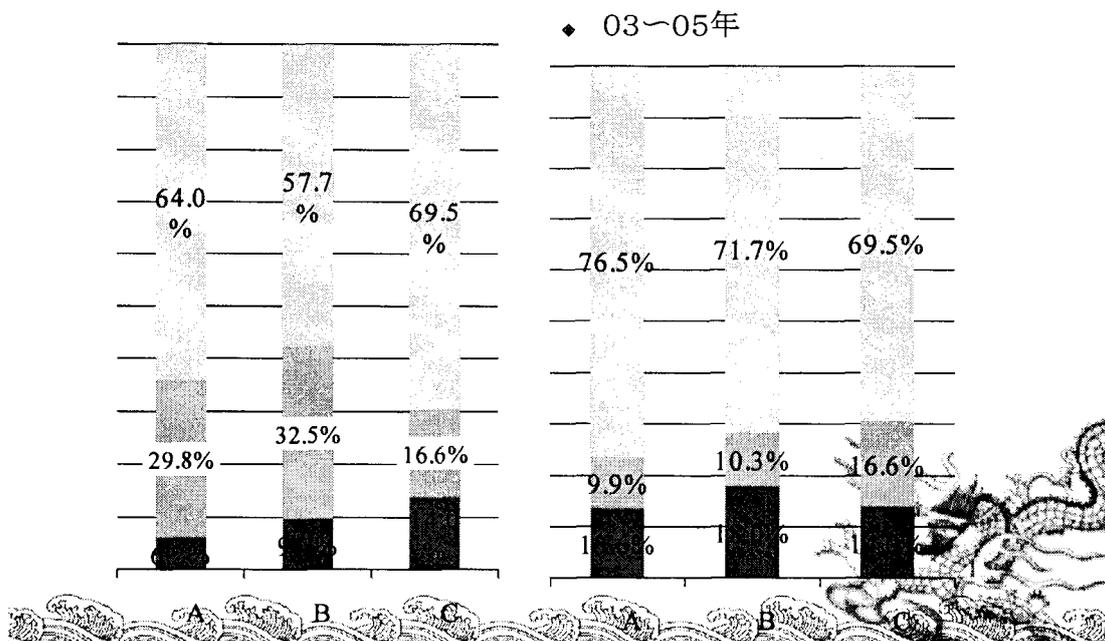
貧困経験が分かるパネル調査

3つの同一年齢集団(コホート)の女性を対象とした家計研パネル調査
94年から05年までのデータを利用

年齢集団	調査期間	年齢変化
A	94～05年	25～35歳→36～46歳
B	97～05年	24～27歳→32～35歳
C	03～05年	24～29歳→26～31歳

対象世帯の年収/生活保護による最低生活費=1を基準に貧困を判断。
 期間中、年収がいつも1から上=**豊穡層**
 期間中、年収が1から下を経験し、平均して1から下=**固定貧困層**
 期間中、年収が1から下を経験し、平均して1から上=**一時貧困層**

最近では貧困固定化と安定化に二極化



今日の貧困と福祉事務所の役割

